様式第２号（第３条関係）

審　議　会　会　議　録

<table>
<tr><td>会 議 名 称</td><td colspan="3">令和３年度　第１回伊達市社会教育委員会議</td></tr>
<tr><td>議　　題
（送付書類）</td><td colspan="3">１．委嘱状の交付
２．審議案件
議案第１号：伊達市社会教育委員会議の議長及び副議長の選出
３．報告案件
報告第１号：令和３年度教育行政執行方針
報告第２号：令和２年度社会教育事業実施報告書
報告第３号：令和３年度社会教育事業実施計画書</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td colspan="3">令和３年５月書面開催</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="3">書面開催</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　席　者</td><td colspan="3">社会教育委員 11 名（うち書面表決書提出委員 11 名）</td></tr>
<tr><td>所管部課名</td><td colspan="2">教育部生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公開非公開の別</td><td>□ 公　開</td><td>傍聴者の人数</td><td></td></tr>
<tr><td>■ 非公開</td><td>非公開の理由</td><td>書面開催のため</td></tr>
</table>

【会議概要】

◎新型コロナウイルス感染症対策のため、会議を書面開催とした。

◎会議資料については、５月 20 日に各委員に郵送した。

◎委員任期が４月 30 日で満了となっており、所定の手続きにより５月１日付けで委員に就任した 11 名（１名欠員）へ委嘱状を郵送した。

◎審議案件（議案第１号：伊達市社会教育委員会議の議長及び副議長の選出）については、各委員から書面表決書により決することとした。

◎報告案件については、書面表決書に意見欄を設け、委員より意見を聴取した。

◎書面表決書の回答期限は５月 31 日とした。

【審議案件】

◆議長及び副議長の選出（規則により委員による互選）

議長：小林浩路委員　副議長：伊藤成子委員〔全会一致で再任〕

【報告案件への委員からの意見】

なし。

令和３年度第１回伊達市社会教育委員会議【書面開催】

１．委嘱状の交付

会議の冒頭で委嘱状の交付を行う予定でしたが、会議が書面開催となりましたことから、郵送による交付といたしました。

２．審議案件

議案第１号：伊達市社会教育委員会議の議長及び副議長の選出

３．報告案件

報告第１号：令和３年度教育行政執行方針・・・・・・資料１
報告第２号：令和２年度社会教育事業実施報告書・・・資料２
報告第３号：令和３年度社会教育事業実施計画書・・・資料３

４．会議の開催方法

（１）審議案件（議案第１号：伊達市社会教育委員会議の議長及び副議長の選出）

４月３０日で前期の委嘱期間が満了し、全員が令和３年５月１日付けで伊達市社会教育委員に就任いただいたことから、伊達市社会教育委員会議規則第２条の規定により、委員の互選により議長及び副議長を選任することになります。

第１回会議が書面開催となりましたことから、書面表決書により決定いたします。

（２）報告事項（報告第１号～第３号）

報告第１号、報告第２号、報告第３号については、決定事項の報告で審議案件ではありませんが、質問等がありましたら書面表決書に質疑欄を設けておりますので、ご記入願います。

特に議案第３号「令和３年度社会教育事業実施計画」に関しましては、コロナ禍により詳細が決まっていない事業もあることから、ご意見を頂ければと思っています。

〒052-0021 伊達市末永町３９番地８（伊達市役所第２庁舎）
伊達市教育委員会教育部生涯学習課社会教育係：佐藤
TEL ０１４２-８２-３２９９(内線７４２) Ⓕ２３－１０８４
E-mail：shogaigakushu@city.date.hokkaido.jp

【資料１】

令　和　３　年　度

教　育　行　政　執　行　方　針

伊　達　市　教　育　委　員　会

目　　次

Ⅰ　はじめに　１～２

Ⅱ　教育行政に臨む基本姿勢　３～５

Ⅲ　推進項目　６～18

１　学校教育　６～12

２　社会教育　13～14

３　歴史・文化芸術　15～17

４　スポーツ　18

Ⅳ　むすび　19

Ⅰ　はじめに

令和３年第１回伊達市議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

我が国は、急速な人口減少と少子高齢化による急激な社会変化が進む一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大が地域社会においても困難をもたらし、今なおその回復への見通しが立たない状況が続いております。

また、教育現場においては、「学校の新しい生活様式」を踏まえた取組やＩＣＴ（Information and Communication Technology 情報通信技術）を活用する「ＧＩＧＡスクール構想」が一気に推し進められました。このようなＩＣＴを活用した授業改善により、これまでの学校教育のフレームやルールの再定義がなされ、指導者側の視点に立った「個に応じた指導」から、学習者一人ひとりにとっての「個別最適な学び」「協働的な学び」へと、教育のイノベーションが図られるものと考えております。

このような中、本市においては、第２次伊達市教育振興基本計画において基本理念として定めた「自立・協働・創造」を本市教育のスローガンに掲げ、ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標）において進められる、グローバルな課題解決を視野に入れローカルに活躍できるような人材育成や環境整備に向け、ＩＣＴを土台に据えた教育活動の工夫・改善が必要と考えております。

また、超高齢社会の到来により、市民一人ひとりが生涯にわたり、いつでもどこでも学ぶことができ、その学びの成果を活かすことのできる生涯学習社会を基盤として、学校教育や社会教育等のあらゆる学びの連携を図った取組の充実及び改善も一層重要になるものと考えております。

伊達市教育委員会といたしましては、第２次伊達市教育振興基本計画に基づいた各種教育施策に取り組むとともに、市長が主宰する総合教育会議における協議や、令和３年度に開校する「北海道伊達開来高等学校」の特色ある教育活動の充実に向けた支援を図り、小・中・義務教育学校と高校との系統性のある教育の実施等、市をはじめ、学校、家庭、地域や関係機関、団体等との連携をさらに強化して教育行政を推進してまいります。

Ⅱ　教育行政に臨む基本姿勢

ここで、今後の教育行政に臨む基本姿勢について申し上げます。

教育を取り巻く現状と課題を踏まえ、「第２次伊達市教育振興基本計画」において「自立・協働・創造」を基本理念として定めるとともに、基本理念の目指す方向性について、「自立」におきましては、「夢を志に高め、たくましくしなやかに、生涯を通じて挑戦し続ける人の育成」を目指し、「協働」におきましては、「共に学び育ちあう絆を強くし、地域が人を育み、人が地域を創る社会の実現」を、「創造」におきましては、「郷土の歴史と文化を継承・発展させ、新しい価値観を創出する人の育成」を目指すこととしたところであります。

以上のことを基本姿勢として、自らが伊達市の将来を創り出していくという主体性を持ったひとづくり、郷土の歴史や文化を誇りに思い、生涯にわたり生きがいを持って活躍できる学びづくりのため、学校教育におきましては、

「社会を生き抜く力を育む教育の推進」として、地球規模の視野で考え、地域の視点で行動できる「グローカル」な人材や、これからの地域社会を担う人材の育成に向けたキャリア教育及びふるさと創生教育の一環として、「だて学」の実践を進めるとともに、コロナ禍においても学びを止めず、子どもたちに必要な資質や能力を育成するために「ＧＩＧＡスクール構想」を基にした教育活動の改善を図ってまいります。

併せて、特別の教科「道徳」の充実による「豊かな心を育む教育の推進」、体力向上、食育及び健康教育を目的とした「健やかな体を育む教育の推進」を進めてまいります。

また、「地域とともにある学校づくりの推進」として、コミュニティ・スクールの取組により、地域住民や保護者が主体的に学校運営

に参画し、学校と地域が一体となって子どもたちを育むなど、地域総がかりの教育と学校を拠点とした地域づくりを推進してまいります。

「信頼される教育環境の整備」としては、一定規模の集団の中で、認め合い、協力し合い、切磋琢磨できるなど、児童生徒の教育環境をより良いものとするため、地域や学校と連携しながら学校再編等を進めてまいります。

社会教育におきましては、

「ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進」として、次の時代を担う青少年に、夢や目標を持って、健やかに成長できるよう、市民団体と協力し様々な体験活動や交流の場となる青少年教育事業の充実を図るとともに青少年の新たな価値を生み出す資質・能力を育んでまいります。

また、「共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進」として、「市民講座」や「市民カレッジ」等各種講座に多くの市民が参加できるよう工夫して実施するとともに、放課後に安全・安心な居場所を設け、地域住民との関わり合いを大切にしながら、子どもたちにスポーツ・文化活動等の機会を提供するほか、学習習慣を身に付けさせることなどを目的として、「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」を開設いたします。

歴史・文化芸術におきましては、

「特色ある地域文化の推進」として、芸術鑑賞事業や文化芸術活動への支援等を通じて、地域の特性を活かした多様な文化芸術の充実及び発展に努めてまいります。

また、「歴史文化を活かしたまちづくりの推進」として、ユネスコ世界文化遺産に推薦され、登録に向けた審査が行われている「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つである国指定史跡の北黄金貝塚について、令和３年夏の世界遺産登録を見据えて、さらに幅広い市

民の意識啓発に努めるとともに、市内はもとより市外からの来館者が「集い学びあえる」場として、だて歴史文化ミュージアムの充実を図り、歴史文化を活かしたまちづくりの担い手となるような取組を行ってまいります。

スポーツにおきましては、
「豊かな心身を育むスポーツの振興」として、生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、健康・体力づくりに関する情報発信と健康意識の啓発に加え、子どもから高齢者まで親しめる環境づくりや各種大会の開催等をスポーツ施設の指定管理者や関係団体等と連携し支援してまいります。

以上を基本姿勢として、教育行政を執行してまいります。

Ⅲ　推進項目

それでは、令和３年度の推進項目と主要な施策について申し上げます。

１　学校教育

第一は、学校教育についてであります。

社会を生き抜く力を育む教育の推進

地球規模の視野で考え、地域の視点で行動できる「グローカル」な人材、地域の将来を担う人づくりに向けたキャリア教育、ふるさと創生教育の一環として、「だて学」の実践を進めてまいります。実践に向けては、児童生徒の発達段階に応じた系統性のあるカリキュラム、令和３年度開校の伊達開来高校や学校運営協議会、地域住民等とのさらなる連携、学校統合後の児童生徒の住まいのある地域への地元意識や地元愛を啓発する活動の展開等の工夫・改善を進めてまいります。

変化の著しい社会にあって、子どもたちがしなやかに生き抜いていくためには、知識を創造したり活用したりすることを通じて、得た知の力を実感できる学習の実現が必要です。同時に、知識や経験を基に将来を予測し、主体的に判断する探求の力や情報や情報手段を主体的に選択して活用していく力も求められております。

コロナ禍においても、学びを止めず、子どもたちに必要な資質や能力を育成するために、学校教育においては「全国学力・学習状況調査」や「伊達市学力テスト」の結果を基にした具体的な改善策を立てるとともに、北海道の各種事業を活用して「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を進めてまいります。また、Ｇ

ＩＧＡスクール構想により導入されるＩＣＴ機器や高速大容量の通信ネットワークを活用したオンライン学習、学習場面でのデジタル教材の活用を推進し、児童生徒一人ひとりの学びに向かう意欲の一層の向上を図ってまいります。さらに、情報発信等による他者、社会に及ぼす影響や情報モラルの必要性に関する指導はもとより、ネットトラブルの未然防止に向けた指導を充実させるなど、情報活用能力の育成を図ってまいります。

特別支援教育につきましては、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の場を提供し、自立や社会参加に向けた教育を進められるよう、伊達高等養護学校や医療、福祉、保健等の関係機関との連携のもと､長期的な視点で教育的支援を行う取組を推進してまいります。

また、小学校、中学校及び義務教育学校に特別支援教育支援員や介護員を障がいの程度に応じて適切に配置するとともに、特別支援教育に関する研修の機会を充実させ、児童生徒個々の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行ってまいります。

国際理解教育の推進につきましては、外国語指導助手を学校へ派遣し、外国語を用いた対話の機会の充実を図ってまいります。

また、子どもたちが楽しく外国の文化や習慣に触れられる「だてっ子イングリッシュ・アドベンチャー」を実施し、実践的な英語コミュニケーション能力やチャレンジ精神を身に付けるよう、グローバルな人材の育成を推進してまいります。

安全・防災教育の充実につきましては、本市は、定期的に噴火を繰り返す有珠山を擁していることから、自然災害に備え、児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付け、自ら適切な行動が出来るよう、地域と共に、実践的な避難訓練等を実施し、防災意識の向上を図ってまいります。

豊かな心を育む教育の推進

子どもたちが将来、自立した人間として主体的に判断し、他者とよりよく生きていくためには、基盤となる道徳性を養うことが重要です。学校教育全体をとおして、道徳教育と人権教育との関連を図り、互いの違いを認め理解し合いながら、自分と同じように他者も尊重できる態度を養う教育活動を進めてまいります。

また、「子どもたちをいじめの被害者・加害者・観衆・傍観者にしない」「いじめは許されない」の観点から、伊達市いじめ防止基本方針に基づき、教育相談やアンケート調査のほか北海道教育委員会と学校によるネットパトロール等を通じて、児童生徒の変化や状況を把握し、未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいります。また、市をはじめ、学校、家庭、地域、関係機関等との連携を深め、いじめの問題に対し総合的かつ適切に対応してまいります。

さらに、児童生徒の人間関係の構築や社会で生き抜く力、表現力や共感力を向上させ、学校生活におけるいじめの未然防止にもつなげていくために、プロの指導者によるワークショップを中学校で実施し、他者との関わり方を学ぶとともに、協働作業による達成感を味わうことができる取組を進めてまいります。

とりわけ、現下のコロナ禍においては、「伊達市新型コロナウイルス感染症の感染者等の人権の擁護に関する条例」の趣旨等を踏まえ、感染者や医療関係者等への差別・偏見・いじめ・誹謗中傷が決して起こらないよう、他を思いやり支え合う意識の醸成を図る教育に努めてまいります。

児童生徒の悩みや生徒指導は、教職員だけでの対応や解決が難しい事例も増えてきております。子どもたちが安心して笑顔で学校に通うためには、学校における日常的な教育相談や家庭との連携等により、子どもたちの変化を早期に発見し対応することが重要です。こうした、児童生徒の様々な悩みに対しては、引き続きスクールカ

ウンセラーを活用した教育相談体制の充実を図るとともに、各校における組織的な対応が徹底されるよう、生徒指導や教育相談にかかわる研修機会を充実させ、児童生徒の置かれている状況や抱えている問題・悩みに応じて適切に対応してまいります。

また、不登校対策につきましては、個々の児童生徒にあった支援策を策定し、学校を中心として組織的かつ計画的に不登校児童生徒への支援を実施することが重要です。各校における支援策を基盤として、学校と教育委員会が連携し、スクールソーシャルワーカーの配置、不登校児童生徒サポートハウス「こどもの国フェニックス」を活用した取組の充実を図り、社会的自立や学校復帰に向けた支援に取り組んでまいります。

健やかな体を育む教育の推進

体力向上につきましては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」や「伊達市体力テスト」の結果を基にして体力向上プランを立てるとともに、体育科を中心とした教科指導の工夫・改善、運動意欲の向上を図り、子どもたちの健全な心身の育成を強化してまいります。

食育・健康教育につきましては、学校を中心として組織的・計画的に食の指導に取り組むことが重要であり、児童生徒の望ましい食習慣の定着を図るため、栄養教諭の派遣事業を継続するとともに、食育センターを有効に活用しながら食育の取組の充実を図ってまいります。

また、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ることができるよう、薬物乱用の有害性や危険性、性に関する正しい理解を深める指導の充実を、関係機関と連携して推進してまいります。

学校給食につきましては、地場産食材を積極的に取り入れ、日本文化や季節の行事など食育の観点を意識した給食の提供に努めると

ともに、より安全・安心な給食運営に努めてまいります。
　さらに、運営にあたる特別目的会社が実施する自主事業により、市民の健康増進等に資する取組を関係団体と連携し、充実させてまいります。

　がん教育の充実につきましては、がんに関する理解を深めるため、食生活はもとより生活習慣が健康に及ぼす影響や予防等について、保健体育の授業や外部講師による「出前授業」も活用し、取組を進めてまいります。

地域とともにある学校づくりの推進

　コミュニティ・スクールの取組につきましては、各学校運営協議会において学校経営方針や教育活動等について熟議するとともに、地域住民や保護者が主体的に学校運営に参画し、学校と地域が一体となって子どもたちを育むなど、地域総がかりの教育と学校を拠点とした地域づくりを推進してまいります。また、学校運営協議会委員の情報交換や連携推進、教職員の学校運営協議会運営能力の向上を目的とした研修会を実施してまいります。

　子どもたちが地域の歴史、文化芸術、伝統芸能に触れることは、地域のよさを知り、豊かな情操を育むうえで重要であります。「だて学」の一環として、関係団体や学校との連携のもと、地域の文化芸術や伝統芸能に携わる人材や団体、だて歴史文化ミュージアムの活用や、姉妹都市や歴史兄弟都市との学習交流等を推進し、子どもたちがふるさと伊達市のよさを体感し、豊かな情操が育まれるよう取組の充実を図ってまいります。

　異校種間の連携・接続につきましては、子どもたちが進級や進学する際に、一人ひとりのもつ良さや可能性が十分に発揮されるよう、

異なる学校種にわたって教育を見通し、指導内容の連続性や系統性を重視した連携を推進し、今年度開校する伊達開来高校と教科指導を中心とした連携の充実を図ってまいります。

幼児教育の充実については、「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」の充実を図るため、関係機関等と連携し、子どもや保護者の負担を軽減できる取組を展開してまいります。

子どもたちにとって最大の教育環境は学校の教職員です。教職員は教育公務員として、子どもたちの人格形成に大きな影響を与える立場であり、最も身近な大人の一人として、自ら研鑽を深め続けることや高い倫理観が求められます。

教職員の資質・能力の向上につきましては、市内教職員の指導力の向上や指導体制の充実を目的とした研修会を開催するとともに、各校において日常的に学び合う校内研修の充実はもとより、北海道教育委員会等が行う研修事業への参加促進を働きかけてまいります。

また、教職員の服務規律保持徹底につきましては、学校教育が児童生徒や保護者はもとより地域住民との信頼関係の上に成り立っていることを強く自覚し、一人一人の教職員が「教育のプロ」としての高い倫理観を保持するため、校内研修等の充実・改善を図るとともに、教職員の働き方改革につきましても、「伊達市立学校における働き方改革～アクション・プラン～」に基づき、学校、家庭、地域及び教育委員会が緊密に連携し、教職員が教育活動に専念できる環境を整備し、学校力の向上に努めてまいります。

信頼される教育環境の整備

学校施設につきましては、伊達市学校施設長寿命化計画に基づき「伊達小学校校舎改築事業」など計画的に工事を実施するとともに、老朽化が進む校舎、設備の改修や適切な維持管理により、安全・安

心な教育環境の確保に努めてまいります。

学校の安全対策につきましては、引き続き「登下校安全対策推進会議」を実施し、保護者、学校、警察等による安全に係る取組を継続するとともに、スクールガードリーダーや地域住民の見守り活動団体と連携し、子どもの安全確保に努めてまいります。

伊達市立学校の再編につきましては、一定規模の集団の中で、認め合い、協力し合い、切磋琢磨できるなど、児童生徒の教育環境をより良いものにするため、「第２次伊達市教育振興基本計画」の中で示した「原則、１学年２学級以上の学校を適正規模」とし、地域や学校と連携し伊達市立学校の再編等を進め、子どもたちの教育環境の充実を図ってまいります。

２　社会教育

第二は、社会教育についてであります。

ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進

次の時代を担う青少年には、様々な体験や交流を通じて創造性や協調性等を身に付け、夢や目標を持って、健やかに成長できるよう、市民団体と協力し青少年教育事業の充実を図ってまいります。

また、伊達の魅力を感じ、愛着や誇りを持つよう「だて学」にも積極的に取り組み、青少年の新たな価値を生み出す資質・能力を育んでまいります。

さらに、地域のリーダー育成のため、青少年に対する各種研修や交流事業への参加を促進し、模範となる行いを顕彰することにより誇りと自信を高め、豊かな心と実践力の育成に努めてまいります。

共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進

市民への生涯にわたる学習機会の提供につきましては、「市民講座」や「市民カレッジ」等の各種講座に多くの市民が参加できるよう、メニューや実施日時等を工夫するとともに、特に市民講座につきましては、カルチャーセンターの指定管理者と連携することで更なる講座内容の充実を図ってまいります。

「長生大学」は、学習内容の工夫・改善や学習活動の活性化に努め、高齢者の向学心に応えるとともに、健康で心豊かな生活を送ることや仲間づくりの場としての役割を担ってまいります。

また、「だて学」を広く市民が学べるように、市民講座、市民カレッジ、長生大学等において「オトナのだて学」と冠した講座等の充実に取り組んでまいります。

「放課後子ども教室」につきましては、放課後に安全・安心な居

場所を設け、地域住民との関わり合いを通じて、子どもたちにスポーツ・文化活動等の体験機会の提供や、学習習慣を身に付けさせることを目的に、実施校を増やしながら心豊かで健やかに育まれる環境の整備を進めてまいります。

また、「放課後児童クラブ」につきましては、事業の充実・改善を進めるとともに、「放課後子ども教室」との連携を図りながら、児童や保護者にとってより良い放課後等の居場所づくりとして取り組んでまいります。

男女共同参画の推進につきましては、胆振女性リーダー養成研修への参加者派遣や教養講演会等を開催し、意識啓発を推進してまいります。

図書館につきましては、平成 30 年度に策定いたしました「伊達市立図書館運営基本方針」に則り、図書館業務等の充実に努めるとともに、施設整備においては、将来にわたって持続可能な適正規模の施設に向けた準備を進めてまいります。

また、公立図書館としての機能を踏まえた図書資料の充実を図り、世代に応じた生涯学習活動を支援するほか、学校やボランティア団体と連携して「ブックスタート事業」、「小学校児童書巡回事業」、「みんなのオススメ本ＰＯＰコンテスト」等の事業を通じて読書活動の推進を図ってまいります。

さらに、図書が児童生徒に与える影響力を考慮し、家庭、地域、学校等がそれぞれの役割を果たして、子どもの読書活動を推進するための相談窓口としての機能を充実させるとともに、伊達市立学校はもとより市内道立学校の図書室との連携を深めてまいります。

３　歴史・文化芸術

第三は、歴史・文化芸術についてであります。

特色ある地域文化の推進

文化芸術につきましては、カルチャーセンターやだて歴史文化ミュージアム等を活用し、ＮＰＯ法人伊達メセナ協会等の関係団体と連携しながら、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、小中学生に対しては、創造性や感性を育むため文化芸術鑑賞の機会を提供する「巡回小劇場事業」を継続実施してまいります。

文化芸術活動の普及につきましては、市民が文化芸術活動を発表し展示できる場として、伊達市文化協会との共催事業である「伊達市民総合文化祭」の開催を通じて、活動の活性化に資する支援を進めるとともに、アートビレッジ文化館におきましては高度な技術を学ぶことが出来る絵画教室を開設し、国内外で活躍できるような芸術家の育成を進めてまいります。

本市の伝統文化・郷土芸能につきましては、関係団体と学校の教育活動等との連携を進めるなどして、その普及及び継承に力を入れてまいります。

また、アイヌの文化や伝統に関する理解の促進に資するため、市民とともに道内のアイヌ関連施設等への視察を行うほか、アイヌの伝統技術を学ぶ講習会を開催してまいります。

歴史文化を活かしたまちづくりの推進

本市には、太古から現代まで語り継がなければならない特色ある歴史と文化があります。この郷土の歴史と文化を市民が理解し、誇りに思えるようなまちづくりを進めてまいります。

世界遺産に推薦され、登録に向けた審査が行われている「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つである国指定史跡の北黄金貝塚につきましては、令和３年夏の世界遺産登録を見据えて、さらに幅広い市民の意識を啓発し、市民が地域の歴史文化を活かしたまちづくりの担い手となるような取組を行ってまいります。

北黄金貝塚の普及・活用事業として、とりわけ子ども向けの体験学習やワークショップを充実させることによって、子どもたちの郷土の歴史や文化に対する誇りを醸成するとともに、１万年以上も継続した縄文文化からの学びを通じてＳＤＧｓへの関心を高めてまいります。

また、世界遺産登録に際しては、登録決定の瞬間を市民と共に迎えるため、ユネスコ世界遺産委員会のパブリックビューイングを実施するほか、登録決定祝賀イベントとして市民有志が中心となって「だて噴火湾縄文まつり」を開催いたします。また、歴史文化的な価値とあわせて観光的魅力の発信に努めるために、展示や体験学習メニューを充実させるとともに、北黄金貝塚情報センターの展示を多言語音声解説とすることによってインバウンドへの対応を図ってまいります。

北海道遺産「蝦夷三官寺」の一つである有珠善光寺につきましては、厚岸町と様似町との連携により、その歴史文化的価値と観光的魅力を広く伝える取組を行い、３市町を巡るスタンプラリーの実施等を通じて地域の活性化を図っていまいります。

だて歴史文化ミュージアムにつきましては、本市が保有する縄文

文化からアイヌ文化、武家文化それぞれの文化財の適切な保存と弾力的な活用により、多文化共生の意義を学ぶことができる魅力ある施設として、博学連携や周辺地域の文化施設、観光施設等との連携を積極的に行い、「だて学」の探求促進を図るとともに、市内はもとより市外からの来館者が「集い学びあえる」場の創出に努めてまいります。

また、新たな取組として、道内の有望な若手アーティストに対し、その才能や魅力をアピールできる機会や情報交換、人的交流の場を提供することで、地域における文化芸術のハブ拠点としての機能を目指す取組を行ってまいります。

４　スポーツ

第四は、スポーツについてであります。

豊かな心身を育むスポーツの振興

超高齢社会となった現代において、健康・体力づくりへの関心はますます高まりをみせており、健康保持増進のためであることはもちろんのこと、生きがいづくりのためにもスポーツやレクリエーション活動の充実が求められております。

生涯を通じて、これらの活動を楽しめるよう、健康づくり事業やスポーツ教室の開催、子どもから高齢者まで親しめる環境づくりやスポーツ団体の育成、各種大会の開催等をスポーツ施設の指定管理者やスポーツ推進委員、伊達市地域体育振興会連絡協議会等の関係団体と連携し支援してまいります。

また、健康・体力づくりに関する情報発信や健康意識の啓発を充実させるとともに、特に総合体育館においては、指定管理者と連携し、利用者アンケート等によるニーズの把握を積極的に行い、様々なスポーツ教室等の展開をとおして、市民のスポーツ施設の利活用の促進に努めてまいります。

Ⅳ　むすび

以上、令和３年度の教育行政に臨む基本姿勢等について申し上げました。

伊達市教育委員会といたしましては、本市をはじめ、あらゆる地域や世界を舞台に活躍する資質及び能力を持った人材の育成を目標として教育活動を進めていくとともに、市民一人ひとりが生涯にわたり豊かに学ぶことができるよう、学校、家庭、地域はもとより、関係機関や団体等との連携を図りながら、本市教育のより一層の充実及び発展に全力で取り組んでまいります。

市議会議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

令和２年度　社会教育事業実施報告書　　【資料２】

※ ［　　］ は、新型コロナウイルス感染防止対策のため事業を中止（又は書面会議等）したもの。

事業名　【 社会教育委員関係事業 】　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
第１回伊達市社会教育委員会議 （第２庁舎会議室１）	◎R01年度事業実施報告 ◎R02年度事業実施計画【確定版】	R02.05月	―	【書面会議】
第２回伊達市社会教育委員会議 （第２庁舎会議室１）	◎R02年度事業実施報告（中間報告） ◎R03年度事業計画策定のための意見交換	R02.11月	―	【書面会議】
第３回伊達市社会教育委員会議 （第２庁舎会議室１）	◎R03年度事業実施計画ほか	R03.02.下	―	【中止】
胆振管内社会教育委員連絡協議会理事会・総会 （登別市）	◎R01年度事業実施・決算報告 ◎R02年度事業計画・予算報告 ◆小林議長は胆社連協理事	R02.05月	―	【書面会議】
北海道社会教育委員長等研修会 （かでる２・７）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会 ◆小林議長は研修会の企画委員	R02.07.06～ R02.07.07 （１泊２日）	―	【中止】
北海道社会教育研究大会渡島大会（函館市）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会 ◆道社連協の永年勤続表彰式があるため、受賞委員が優先出席	R02.10.08～ R02.10.09 （１泊２日）	―	【中止】
胆振管内社会教育委員連絡協議会研修会・永年勤続表彰式（苫小牧市）	胆振管内の社会教育委員及び社会教育関係職員が対象の研修会。	R02.09.30	小林議長	ＪＲ （日帰り）
北海道社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数１０年以上の社会教育委員を道社連協に推薦。 ◆伊藤委員、小谷委員が対象 ◆道社連協の表彰枠の都合で昨年は漏れたため、引き続き本年度も推薦	伊藤委員と小谷委員が授賞決定。授賞式は中止となった北海道社会教育研究大会渡島大会で行われる予定であったため、３月２６日に教育長より授賞盾を贈呈。		
胆振管内社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数６年以上の社会教育委員を胆社連協に推薦。 （該当なし）			

※会議や研修会に出席した委員には、既定の旅費及び日額報酬が支払われます。

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
市民講座〔第１講座〕 (カルチャーセンター)	「お部屋でたのしもう！！プラカップ野菜づくり講座」全３回	9/14、10/12 10/19	8	月曜/日中
市民講座〔第２講座〕 (カルチャーセンター)	「堤中納言物語～平安後期の『お話し』を楽しむ（その２）」 全６回	10/22、10/29 11/05、11/12 11/19、11/26	13	木曜/日中
市民講座〔第３講座〕 (カルチャーセンター)	（仮）「ロープワーク講座」	R02.7.未	―	【中止】
市民講座〔第４講座〕 （カルチャーセンター・札幌コンサートホールkitara)	（仮）「芸術鑑賞講座～札幌交響楽団」（全３回） ◎座学講座２回（カルチャー） ◎音楽鑑賞１回（キタラ）	R02.10.未	―	【中止】
市民講座〔第５講座〕 (カルチャーセンター)	（仮）「『夜間開催！』おいしいコーヒーを淹れてみませんか？（上級編）」全４回	R02.09.未	―	【中止】
市民講座〔第６講座〕 （大滝区内）	「大滝区開催！アロニア染めエコバックを作ろう！」全２回 ※当初、伊達地区参加者は市バス送迎を予定していたが全員（４名）が自家用車で参加した。	10/23、10/30	9	金曜/日中
だて市民カレッジ 〔第１講座〕 (カルチャーセンター) ※大ホール又は視聴覚室	(仮)「クラシックギターで語る音楽の魅力」 講師：ギタリスト 竹形 貴之 氏	R02.06.上 (13：30～)	―	【中止】
だて市民カレッジ 〔第２講座〕 （大滝区内）	(仮)「大滝再発見」 ※木質ペレット工場等施設見学等	R02.07.未	―	【中止】
だて市民カレッジ 〔第３講座〕 (カルチャーセンター)	(仮)「SDGsの取り組みについて」 講師：伊達緑丘高等学校（教員・生徒）	R02.08.未 (13:30～)	―	【中止】
だて市民カレッジ 〔第４講座〕 (カルチャーセンター)	「＃伊達の未来～田舎で人が集まるイベントの作り方～」 講師：紋鼈寺若院 奥田 正弘 氏	R02.09.12 (18:30～)	23	
だて市民カレッジ 〔第５講座〕 (カルチャーセンター)	「温泉を楽しみながら健康寿命を延ばす～なぜ温泉は体にいいのか～」 講師：札幌国際大学名誉教授 松田 忠徳 氏	R02.10.25 (13:30～)	28	
胆振女性リーダー養成研修 (埼玉県比企郡嵐山町)	男女共同参画推進フォーラムに市民３名を派遣※胆振管内教育委員会連絡協議会主催事業	R02.08.27～ R02.09.26	―	リモート開催に変更 ⇒不参加
女性プラザ祭 （かでる２・７）	札幌市で開催されるイベントに市民参加者を集い参加する。 ※開催案内が遅く市民周知が間に合わず不参加。	R02.11.06～ R02.11.14	―	【不参加】
男女共同参画社会づくり推進事業〔講演会〕 (カルチャーセンター)	「装身具にみる縄文時代の女性・男性」 講師：札幌国際大学縄文世界遺産研究室長　越田　賢一郎　氏 ※コロナ対策のため、同時開催のあらうすカーニバルは中止。	R02.11.15	20	【規模縮小】
男女共同参画パネル展 (カルチャーセンター)	カルチャーセンターロビーにて開催※パネルは北海道立女性プラザより借用。	R03.03.上	―	【中止】

〔市民講座と市民カレッジについては「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与〕

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
伊達西小放課後子ども教室	◎安全安心な居場所の提供、地域住民等が参画した学習機会の提供、心豊かで健やかに育まれる環境づくりが目的。 ◎学習日４回/月 ※１～２年：２回/月 ３～６年：２回/月 ◎体験１回/月（全学年合同）	通年	R03.02.末現在 児童数354名 年度当初から開設出来ず、現在に至る。 登録数 0名	令和２年度は一度も開所せず。
長和小放課後子ども教室	同上	通年	R03.02.末現在 児童数 56名 年度当初から開設出来ず、現在に至る。 登録数　0名	
大滝徳舜瞥学校（前期課程）放課後子ども教室	令和２年６月より開設予定であったが、コロナにより開設できず。	通年	R03.02.末現在 児童数 13名 年度当初から開設出来ず、現在に至る。 登録数 0名	
放課後児童健全育成事業 （放課後児童クラブ）	市内全小学校の児童を対象に開設。 ◆保護者が就労等によって昼間家庭にいない児童を対象に受け入れ ◆保育時間は、下校時刻から最大午後６時半まで ◆休日保育は、さくら・あやめ児童クラブで実施 ◆各児童クラブには、会計年度職員を２名以上を配置 ◆保育料は月額６，０００円 ※軽減あり ◆補食（おやつ）あり ◆令和２年度登録状況 （２月末現在） ◎伊達小 うめのこ児童クラブ　42名 さくら児童クラブ　41名 あやめ児童クラブ　41名 ◎東小 第１やまびこ児童クラブ　27名 第２やまびこ児童クラブ　28名 第３やまびこ児童クラブ　27名 ◎西小・関内小 ほしのこ児童クラブ　29名 かぜのこ児童クラブ　31名 きたのこ児童クラブ　28名 ◎長和小 ながわ児童クラブ　13名 ◎稀府小 まれふ児童クラブ　20名 ◎有珠小 うす児童クラブ　3名 ◎大滝徳舜瞥学校前期課程 おおたき児童クラブ　6名 合計　336名	通年	R03.02末現在 全児童1,436名 ※全寮制で児童クラブがない星の丘小学校を除く。 R03.02末現在 登録数　336名 ※期間通所児童（長期休みのみ通所）を含む。	

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－３　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
伊達市長生大学 （カルチャーセンター・有珠白鳥館）	◎伊達長生大学(カルチャー)と有珠長生大学(白鳥館)の２ヶ所を開校。 ◎伊達長生大学は、年間21日の学習日で、午前が講義、午後から実技。 ⇒コロナにより学習日４日 ◎有珠長生大学は午前中のみ開校で、講義又は実技を行っている。 ⇒コロナにより学習日５日 ◎学習日以外の活動としては、修学旅行、見学旅行、運動会、学芸発表会、ボランティア活動があるが、令和２年度は全て中止とした。 ◎伊達長生大学には任意加入の部活(市管理外)もあり、独自に活動している。	通年	R03.02.末現在 65歳以上人口 12,514人 伊達　210名 有珠　12名 合計　222名	４月～８月休校 11月～再休校
宅配講座事業	市職員が講師となり行う座学講座 ◎全５７ジャンル（令和２年度講座数） ◎参加者が５名以上であれば、自治会や各種サークル等で申込可 ◎会場費等は申請者が負担	通年	〔R01実績〕 89回2,742人 〔R02実績〕 53回2,124人	
マイプラン・マイスタディ事業	市民団体等が行う講演会等の講師謝礼金の一部を市が負担する事業 ◎負担上限 20,000円 ◎予算額　125,000円 ◎社会教育に関する講演会等 ◎講演会等の参加対象が、主催団体の会員限定ではなく、一般にも開放されていることが条件。 ◎令和２年より負担上限額を引き下げ。25,000円⇒20,000円	通年	〔R01実績〕 ５回125,000円 〔R02実績〕 １回 20,000円	

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　文化芸術事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
オープンアトリエ （宮尾登美子記念アートホール＝宮尾ＡＨ）	市内在住の若手画家による、作品制作過程を公開するオープンアトリエや作品展示、ワークショップを開催する。	R02.07.未～ R02.08.未 （１ヶ月程度）	―	【中止】
フランク・シャーマンコレクション展 （宮尾ＡＨ）	寄託されているシャーマンコレクションの作品の展示を行う。	R02.09.12～ R02.10.18	1,915	(要)ミュージアム観覧券
ＮＨＫ地域実施全国放送公開番組 （カルチャーセンター大ホール）	NHK番組の「ベストオブクラシック（ＮＨＫ－ＦＭ）」の公開収録を実施する。 出演：イル・デーブ ※コロナ対策のため定員を100名に制限。	R02.11.29	96	【参観制限】
西いぶり定住自立圏文化事業「上方落語」 （登別市民会館）	◎西胆振６市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）で実行委員会を組織し開催している文化公園事業で令和元年度は伊達市で開催。 ◎３市からの負担金各100万円と売券収入により開催経費を賄っている。 ◎出演予定：桂 ざこば、桂 米團治 ※伊達市民のチケット購入者については、先着30名を市バスで送迎	R02.07.26	―	【中止】
巡回小劇場事業 〔小学校低学年〕 （カルチャーセンター）	◎市内小中学生を対象とした舞台芸術鑑賞事業。 ◆㈱劇団め組 〔演劇〕青い鳥	R02.07.06(AM)	―	【中止】
巡回小劇場事業 〔中学校〕 （カルチャーセンター）	◆㈱劇団め組 〔演劇〕ヴェニスの商人	R02.07.06(PM)	―	【中止】
巡回小劇場事業 〔小学校高学年〕 （カルチャーセンター）	◆少人数による音楽とバレエのステージprincipal(プリンシパル) 〔音楽〕音楽とバレエ「くるみ割り人形」ダイジェスト	R02.07.21(PM)	―	【中止】
市民サークルまつり （カルチャーセンター）	市内のサークル団体１７団体（予定）が参加する作品展示会。	R02.09.04～ R02.09.06	―	【中止】
市民総合文化祭2021 （カルチャーセンター）	市内の文化団体３７団体（予定）が参加する文化祭。	R02.10.02～ R02.11.22	―	【中止】

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　文化芸術事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
岩崎淑コンサート (カルチャーセンター)	ピアニスト岩崎淑氏による音楽コンサートを開催予定。	R02.11.26	―	【中止】
伊達音楽アカデミー (カルチャーセンター)	講師にピアニストの岩崎淑氏を招聘し、ピアノレッスンなどの音楽指導を一般公開で行う。	R02.08.29～ R02.08.30	―	【中止】
現代写実絵画研究所絵画教室 「野田・永山塾」 (アートビレッジ文化館)	顧問の野田弘志氏と画家の永山優子氏による、小学生から一般（大人）を対象とした絵画教室。	通年	40	
リアリズム絵画セミナー (アートビレッジ文化館)	リアリズム絵画を志す人を対象としたセミナーで、顧問の野田弘志氏、画家の永山優子氏、外部講師が指導。	通年	15	
北海道ジュニア美術セミナー (アートビレッジ文化館)	小学校４年生から高校生を対象とした絵画教室。初心者には絵画に興味を持ってもらう、中級者にはレベル向上を目的に２日間の開催を予定。	未定 ※２日間	―	【中止】
幼児絵画教室 「ペイントキッズ」 (アートビレッジ文化館)	幼児（幼稚園年中・年長児）を対象とした絵画教室。マーブリング等の幼児でもできる技法を使って、絵を描くことに興味を持ってもらうことを目的に開催予定。 ※コロナ対策のため、11月20日の事業を最後に以降中止。	R02.09.01～ R02.11.20	対象児童数 70人 延べ参加 児童数等 15回261人	
教育関係合同表彰式 (カルチャーセンター) ⇒会場変更の可能性あり	芸術文化表彰（奨励賞）　1名 青少年表彰　0名 市民スポーツ賞表彰　1名 市民体力づくり運動功績者行賞　12名 合計　14名 ※コロナによりズポーツや文化系大会が中止となり受賞者の大幅減 〔令和元年度 90名（▲76名）〕 ※規模を縮小し、来賓及び一般参観者(保護者等)を呼ばず、会場もカルチャーセンター(講堂)から市民活動センター(交流室３・４)に変更。	R03.02.25	―	【規模縮小】

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　歴史事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
縄文こどもの日 （史跡北黄金貝塚公園）	ワークショップを通し、縄文文化を学べるイベント	R02.05.未	―	【中止】
だて噴火湾縄文まつり （史跡北黄金貝塚公園）	縄文文化を学び、楽しむイベントとして実施	R02.08.未	―	【中止】
動物考古学セミナー （伊達市噴火湾文化研究所）	動物標本や貝塚から出土した魚や動物の骨を用いたワークショップ	R03.02.未	―	【中止】
緑丘高校縄文学習 （緑丘高・史跡北黄金貝塚公園）	緑丘高校の敷地内の遺跡や市内の遺跡についての学習	9/15、9/29	108	
文化財防火デー （善光寺・三戸部家住宅）	重要文化財を火災から守るための消防訓練	R02.11.20	20	

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　ミュージアム事業　】　　担当課・係　だて歴史文化ミュージアム

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
多文化との出会いーアイヌ民族と亘理伊達家中の関係秘話ー （本館２階特別展示場）	アイヌ民族と亘理伊達家中が築き上げてきた関係に迫る企画展	~~R02.04.18～~~ ~~R02.06.28~~ R02.05.19～ R02.08.23	1,627	【期間変更】
奥州相馬氏野馬追図屏風 （本館２階特別展示場）	伊達市では初公開となる「相馬野馬追」を描いた屏風絵図の企画展	R02.07.07～ R02.07.26	―	【中止】
洛中洛外図ー屏風と京の文化ー （本館２階特別展示場）	洛中洛外図屏風亘理伊達本の公開と、京と武家の文化を紹介する企画展	~~R02.07.31～~~ ~~R02.09.06~~ R02.09.12～ R02.011.15	2,751	【期間変更】
発掘されたモシリ遺跡 （本館２階特別展示場）	数十年ぶりに発掘調査が行われたモシリ遺跡。モシリ遺跡の概要と重文出土品を紹介する企画展	R02.09.12～ R02.10.25	―	【中止】
亘理・山元・柴田・新地ーふるさとの歴史と絆ー ~~（本館２階特別展示場）~~ （本館１階ラーニング・スタジオ）	姉妹都市・歴史友好都市の町と伊達市とのつながりを歴史的経緯から紹介する企画展	~~R02.11.01～~~ ~~R02.12.27~~ R03.03.02～ R03.03.28	1,203	【期間変更】 【会場変更】
常設展拡大 （本館２階特別展示場）	ミュージアム所蔵品を特別展示場に拡大して展示する企画展	R03.01.06～ R03.01.31	―	【中止】
亘理伊達家のお雛様 （本館２階特別展示場）	ひな祭りに合わせて、亘理伊達家由来のお雛様などを展示する企画展	~~R03.02.06～~~ ~~R03.03.21~~ R03.03.02～ R03.03.28	996	【期間変更】
伊達開拓民具展 （本館１階ラーニング・スタジオ）	開拓に使われた農機具や生活道具などを展示する。	~~R02.09.12～~~ ~~R02.10.25~~ R02.11.03～ R02.011.29	795	【期間変更】
歴史講演会 ~~（本館１階ラーニング・スタジオ）~~	「伊達市ゆかりの洛中洛外図から読む京都文化」 講師：京都文化博物館　西山剛 ※新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインで開催	R02.09.19	75	
迎賓館　ＧＷイベント （迎賓館）	市有形文化財の迎賓館を活用したＧＷイベント	R02.05.02～ R02.05.06	―	【中止】
迎賓館　七夕まつり （迎賓館）	市有形文化財の迎賓館を活用した七夕まつり ※２日間予定⇒１日開催に変更	~~R02.08.01～~~ R02.08.02	50	【期間変更】
ミュージアムで自由研究を完成させちゃおう！！ （本館１階ラーニング・スタジオ）	市内小学生向けの自由研究サポート企画	夏・冬休み期間中	―	【中止】

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　青少年事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
第１回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	小学生を対象とした体験交流事業 「お茶」と「お話」を楽しもう	R02.05.23	―	【中止】
第２回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	「渡辺元佳さんワークショップ」	R02.06.27	―	【中止】
~~第３回~~第１回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	「マジックショー『不思議な手品の世界へ、こんにちは！』」 〔協力者・協力団体〕 船田　辰雄　氏 つどいサークル「ドロップ」	R02.09.26	110	
~~第４回~~第２回だてっ子遊び・学びの教室（北黄金貝塚情報センター）	「世界遺産候補！北黄金貝塚で模擬体験発掘」 〔協力者〕 永谷　幸人　氏(文化財係：学芸員)	R02.10.18	35	
第５回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	「クリスマスカードづくり」	R02.12.12	―	【中止】
第６回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	「心ときめく小さな音楽会」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」他	R03.02.27	―	【中止】
親子体験教室 「クリスマスリースづくり」（市民活動センター）	小中学生とその保護者を対象とした親子参加型の体験事業	R02.11.28	―	【中止】
あそびましておめでとう（総合体育館）	小学生を対象とした事業。事業内容については、昔遊び、ニュースポーツを予定。 〔協力団体〕 伊達シニアクラブスポーツ少年団 つどいサークル「ドロップ」 ※コロナ対策のため例年実施の昼食（雑煮）は中止。また、長生大学への協力依頼も行わない。	R03.01.23	―	【中止】
道南ジュニアリーダーコース（ネイパル森）	道教委主催の中高生を対象とした宿泊リーダー研修会で、伊達市からは２名の高校生を派遣予定。 ※R02は伊達高校から派遣予定	R02.11.21～ R02.11.23 （２泊３日）	―	【中止】
姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会（宮城県柴田町）	姉妹・歴史友好都市である、宮城県亘理町、山元町、柴田町、福島県新地町、伊達市の中高生シニアリーダーが一堂に会し研修・交流する。 ※２年おきに伊達市で開催。次回の伊達市開催は２０２１年	R02.07.29～ R02.07.31 （２泊３日）	―	【中止】
成人式 （カルチャーセンター）	市民憲章朗読、成人の誓い、ビデオレター等。 〔協力団体〕 伊達favorite CLUB ※コロナ対策のため例年実施のバンドコンサートは中止。また、長生大学への協力依頼も行わない。	R03.01.10	―	【延期】 R03.08.14 開催予定
大滝区等の子どもたちとの交流事業【国鉄胆振線代替バス利用促進事業】（倶知安町）	沿線（倶知安～喜茂別など）の児童生徒の交流を図る。	R02.07.11	―	【中止】

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　スポーツ事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年・スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
春一番伊達ハーフマラソン（メイン会場：だて歴史の杜公園）	ハーフ、１０㎞、５㎞、３㎞、車いす、小学団体戦 ※令和３年度についても中止	R02.04.19	―	【中止】
おおたき国際ノルディックウォーキング（大滝総合運動公園）	１２㎞、６㎞、３㎞	R02.07.05	―	【中止】
おおたき国際スキーマラソン（大滝総合運動公園）	１５㎞、７㎞、５㎞、３㎞	R03.02.14	―	【中止】

令和２年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　図書館事業　　】　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
春の読書週間 （図書館）	子ども読書週間に合わせて、小学生子ども一日司書体験、子ども向けの本の展示等を実施。 また、２日間限定で２階に「本の森」を設置し、楽しみながら本に触れ合ってもらう。	R02.04.24～ R02.05.03	―	【中止】
堀内文庫・伊東文庫巡回事業（市内全小学校等）	堀内氏、伊東氏からの寄贈児童書を各校(９校)に３週間程度巡回	R02.06.09～ R03.03.19	―	
みんなのおススメ本ＰＯＰコンテスト （図書館）	市内小中学生等と市内高校生を対象に、おススメ本のＰＯＰコンテストを行う。 図書に対する興味を誘い、読書への意欲の継続・向上を目的として実施。 受賞者は、秋の読書週間に図書館本館で図書を借りた方による投票で決定。 ※本年度についてはコロナ対策により、表彰式（12/19）は中止とする。	R02.06.16～ R02.12.19	応募　654 表彰　15	
七夕飾りづくり （図書館）	長さ４ｍの笹を設置し、子ども達が期間中書いた短冊を飾る。	R02.07.04～ R02.08.07	164	
夏休み子ども工作教室 （図書館）	小学校低学年向けの工作教室を実施する。	R02.07.31	―	【中止】
秋の読書週間 （図書館）	秋の読書週間に合わせて、小学生のためのお話し会、読書クイズ、おすすめ本展示、「本の森」等を実施する。	R02.10.30～ R02.11.08	1,240	
おはなし会 （図書館）	幼児から小学生年向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施する。※８～１１月のみ実施	毎月 第１土曜日	延べ 39	保護者含
絵本の読み聞かせ会 （図書館）	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施する。 ※８～１１・３月のみ実施	毎月 第２・４水曜日	延べ 121	保護者含
子ども映画会 （図書館）	子ども向け映画会の上映を行う。 ※８～１０・３月のみ実施	毎月 第３土曜日	延べ 59	保護者含
地域文庫配本 （各地域文庫４箇所）	図書館遠隔地にその地域と協働で地域文庫を設置。半年に一度２５０冊の図書を寄託・巡回し、地域住民への読書サービスの向上に努める。（４地域に開設）	各文庫 年２回入替	―	
ブックスタート （保健センター）	読書啓発と子育て支援のため、乳幼児健康栄養相談（１歳児対象）の際に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	隔月１回	延べ 151	
ブックスタート・ステップ （図書館）	読書啓発と子育て支援のため、２歳児を対象に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	５日間１クールを年３回実施 （7、11、3月）	延べ 84	
研修生受入事業 （図書館）	図書館業務を体験することで図書館への理解を深めてもらうとともに、研修生の勤労観、職業観の育成等に資する。対象は中学生以上の生徒・学生。	随時	―	

令和３年度　社会教育事業実施計画書　【資料３】

事業名　【 **社会教育委員関係事業** 】　担当課・係　**生涯学習課社会教育係**

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
第１回伊達市社会教育委員会議（カルチャーセンター視聴覚室）	◎委嘱状交付 ◎議長・副議長の選任 ◎令和３年度教育行政執行方針説明 ◎R02年度社会教育事業実施報告 ◎R03年度社会教育事業実施計画 【緊急事態宣言により書面会議に変更】	~~R03. 05. 27~~ R03. 05月	全社教委と関係職員	【書面会議】
第２回伊達市社会教育委員会議（会場未定）	◎R03年度事業実施報告（中間報告） ◎R04年度事業計画策定のための意見交換	R03. 10. 上	全社教委と関係職員	
第３回伊達市社会教育委員会議（会場未定）	◎R04年度事業実施計画ほか	R04. 02. 下	全社教委と関係職員	
北海道社会教育委員連絡協議会通常総会（札幌市：かでる２・７）	◎R02年度事業実施・決算報告 ◎R03年度事業計画・予算報告 ◆小林議長は道社連協の評議員であり、任期中であるため小林議長が出席した。	R03. 04. 16	小林議長	ＪＲ 旅費は胆社連協負担 （終了）
胆振管内社会教育委員連絡協議会理事会・総会（苫小牧市：書面会議）	◎R02年度事業実施・決算報告 ◎R03年度事業計画・予算報告	R03. 05月	―	【書面会議】
北海道社会教育委員長等研修会（札幌市：かでる２・７）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会 ※コロナの関係で、今までは２日日程であったが、本年度は１日日程。	R03. 07. 09	新議長又は委員１名	ＪＲ
北海道社会教育研究大会渡島大会（函館市）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会	R03. 10. 07～ R03. 10. 08 （１泊２日）	委員２名	ＪＲ
胆振管内社会教育委員連絡協議会研修会・永年勤続表彰式（苫小牧市）	胆振管内の社会教育委員及び社会教育関係職員が対象の研修会。	R03. 09～11月 （日程未定）	委員２名 ＋市職員	公用車 （日帰り）
北海道社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数１０年以上の社会教育委員を道社連協に推薦。（該当なし）			
胆振管内社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数６年以上の社会教育委員を胆社連協に推薦。（小林浩路氏）			

※会議や研修会に出席した委員には、既定の旅費及び日額報酬が支払われます。

※北海道社会教育委員連絡協議会⇒道社連協、胆振管内社会教育委員連絡協議会⇒胆社連協

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
市民講座〔第１講座〕 (カルチャーセンター)	「アロマでストレスケアを始めよう」 ①05/08(土)、05/14(金)：オイル作り ②06/11(金)、06/19(土)：安眠スプレー作り ③07/09(金)、07/10(土)：ハンドトリートメント 講師：ＡＥＡＪ認定アロマテラピーインストラクター　松浦雅子氏 ※参加状況を見るため、各月２回、曜日を変えて開催するが内容は同じ。 ※参加費＝受講料200円＋教材費2,300円＝2,500円	左記のとおり	各回10名	〔実績〕 5/08:6人 5/14:5人
市民講座〔第２講座〕 (カルチャーセンター)	『堤中納言物語』平安後期の「お話」を楽しむ　その参（全６回） 講師：武者ますみ氏	09/30、10/07 10/14、10/21 10/28、11/04	15	
市民講座〔第３講座〕 （会場未定）	カルチャーセンターの指定管理者が市受託事業として市民講座（カルチャースクール）を開催するため、市開催は４事業としている。 第３・第４講座は、コロナ禍の状況を見ながら、内容や実施時期を決定する。			
市民講座〔第４講座〕 （会場未定）				
だて市民カレッジ (カルチャーセンター)	第１回実行委員会を開催し、今年度については７月から４回程度開催することとしたが、コロナ禍の状況を見ながら実施する。			
胆振管内教育委員会連絡協議会主催事業 「胆振女性リーダー養成研修」 ~~(埼玉県比企郡嵐山町)~~ 【リモート開催】	昨年度に引き続き今年度もリモート開催となったことから、事前研修は中止となり、本研修となる「男女共同参画推進フォーラム」については、女性関係団体への周知を行うこととする。※R01までは、市民２～３名を派遣。 （周知先） だて嵐山の会 伊達はまなす会 伊達消費者協会	R03.12.01～ R03.12.21	―	
男女共同参画社会づくり推進事業〔講演会〕 (カルチャーセンター)	男女共同参画社会づくりの啓発のために講演会。R01は、あらうすカーニバルとの合同開催で「講演会＋ハンドメイド展示等」、R02は、コロナ禍により講演会のみを大ホールで行った。今年度は９月末までは大ホールがワクチン集団接種で使用不可のため、あらうすカーニバルとの合同開催や開催時期等を検討中である。			
女性プラザ祭 （かでる２・７）	札幌市で開催されるイベントに市民参加者を集い参加する。	R03.11.上	30	市バス
男女共同参画パネル展 (カルチャーセンター)	カルチャーセンターロビーにて開催※パネルは北海道立女性プラザより借用。	R04.03.上	―	

〔市民講座と市民カレッジについては「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与〕

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
伊達西小放課後子ども教室	◎安全安心な居場所の提供、地域住民等が参画した学習機会の提供、心豊かで健やかに育まれる環境づくりが目的。 ◎学習日４回/月 ※１～２年：２回/月 ３～６年：２回/月 ◎体験１回/月（全学年合同） ◆伊達西小学校はH29年度、長和小学校はH30年度に開設し、大滝徳舜瞥学校前期課程については令和２年度に開設予定であったが、新型コロナの影響で令和２年度については、伊達西小学校・長和小学校については一度も開所せず、大滝徳舜瞥学校前期課程については開設を見送る。 ◆令和３年度については、学校を利用して行う事業であることから、コロナ対策について、学校との協議を進めている最中である。	通年	R03.04.01現在 児童数324名	
長和小放課後子ども教室		通年	R03.04.01現在 児童数53名	
大滝徳舜瞥学校（前期課程）放課後子ども教室		通年	R03.04.01現在 児童数18名	新規開設
放課後児童健全育成事業 （放課後児童クラブ）	市内全小学校の児童を対象に開設。 ◆保護者が就労等によって昼間家庭にいない児童を対象に受け入れ ◆保育時間は、下校時刻から最大午後６時半まで ◆休日保育は、さくら・あやめ児童クラブで実施 ◆各児童クラブには、会計年度任用職員２名以上を配置 ◆保育料は月額６，０００円 ※軽減あり ◆補食（おやつ）あり ◆令和３年度登録状況 ◎伊達小 うめのこ児童クラブ　44名 さくら児童クラブ　45名 あやめ児童クラブ　44名 ◎東小 第１やまびこ児童クラブ　40名 第２やまびこ児童クラブ　40名 第３やまびこ児童クラブ　40名 ◎伊達西小・関内小・有珠小 ほしのこ児童クラブ　38名 かぜのこ児童クラブ　35名 きたのこ児童クラブ　33名 ◎長和小 ながわ児童クラブ　16名 ◎稀府小 まれふ児童クラブ　20名 ◎大滝徳舜瞥学校前期課程 おおたき児童クラブ　7名 合計　402名 ※うす児童クラブ（有珠小）は、登録児童の減少により、ほしのこ児童クラブへ統合	通年	R03.04.01現在 全児童1,386名 ※全寮制で児童クラブがない星の丘小学校を除く。 R03.05.01現在 登録数　402名 ※期間通所児童（長期休みのみ通所）を含む。	

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－３　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
伊達市長生大学（カルチャーセンター・有珠白鳥館）	◎伊達長生大学(カルチャー)と有珠長生大学(白鳥館)の２ヶ所を開校。 ◎伊達長生大学は、年間21日の学習日で、午前が講義、午後から実技。 ◎有珠長生大学は午前中のみ開校で、講義又は実技を行っている。 ◎学習日以外の活動としては、通常の年であれば、修学旅行、見学旅行（２回）、運動会、学芸発表会、ボランティア活動を行っているが、令和２年度は全て中止、令和３年度は修学旅行と見学旅行（春の１回）を中止とし、ほかの活動はコロナの状況により判断する。 ◎伊達長生大学には任意加入の部活(市管理外)もあり、独自に活動している。	通年	R03.04.30現在 65歳以上人口 12,526人 R03.05.17現在 在籍者数 伊達　185名 有珠　14名 合計　199名	
宅配講座事業	市職員が講師となり行う座学講座 ◎全５７ジャンル ◎参加者が５名以上であれば、自治会や各種サークル等で申込可 ◎会場費等は申請者が負担	通年	〔R02実績〕 53件2,124人	
マイプラン・マイスタディ事業	市民団体等が行う講演会等の講師謝礼金の一部を市が負担する事業 ◎負担上限 R01：　25,000円⇒R02：　20,000円 ◎予算額 R02：125,000円⇒R03：160,000円 ◎社会教育に関する講演会等 ◎講演会等の参加対象が、主催団体の会員限定ではなく、一般にも開放されていることが条件。	通年	〔R02実績〕 １件20,000円	

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　文化芸術事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
西いぶり定住自立圏文化事業「桂米朝一門上方落語を楽しむ会」（登別市民会館）	◎西胆振６市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）で実行委員会を組織し開催している文化公演事業。 ◎３市からの負担金各100万円と売券収入により開催経費を賄っている。 ◎登別市開催は令和２年度の予定であったが、コロナにより中止となったため、令和３年度にスライド。 ◎出演予定：桂 ざこば、桂 米團治 ◎伊達市民のチケット購入者については、先着17名を市バスで送迎。（コロナにより減席） ◎令和４年度は伊達市開催	R03.08.01 ※２回公演 (午前)10:00 (午後)13:30 各公演２時間	600 (各300) 伊達市のチケット配分 午前60枚 午後60枚	※市バス
巡回小劇場事業〔小学校低学年・小学校高学年・中学校〕（カルチャーセンター）	９月６日～８日に３公演を予定していたが、大ホールが新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となったことから、本年度も中止とした。 ※１回の公演を２回に分けても、１回に450名前後を収容できないため不可。 ※再度の日程調整については、学校のスケジュールが固まっているため難しい。 ※日程調整ができたとしても、ワクチンの集団接種期間の延長やコロナの蔓延状況によっては中止となる可能性がある。			
市民サークルまつり(カルチャーセンター)	例年９月に開催しているが、令和２年度はコロナにより中止、令和３年度はワクチンの集団接種会場で大ホールが使用できないため中止の公算が高い。※これから実行委員会で正式決定となる予定。			【中止予定】
市民総合文化祭2021(カルチャーセンター)	市内の文化団体３７団体（予定）が参加する文化祭。 ※令和２年度はコロナにより中止、令和３年度はワクチンの集団接種会場が９月末までに終了すれば大ホールが使用できる。 ※共催団体の伊達市文化協会と協議のうえ、開催するかどうかを決定する。	R03.10.上～ R03.11.中	(来場見込) 8,000	
現代写実絵画研究所絵画教室「野田・永山塾」(アートビレッジ文化館)	顧問の野田弘志氏と画家の永山優子氏による、小学生から一般（大人）を対象とした絵画教室。	通年	40	アートビレッジ事業
リアリズム絵画セミナー(アートビレッジ文化館)	リアリズム絵画を志す人を対象としたセミナー 〔講師〕 「野田・永山塾」野田弘志氏 〃　永山優子氏 ほか外部講師	通年	15	アートビレッジ事業
北海道ジュニア美術セミナー（防災センター）	小学校４年生から高校生を対象とした絵画教室。（２日日程） 〔講師〕 「野田・永山塾」永山優子氏	R03.07.17～ R03.07.18	10	アートビレッジ事業
幼児絵画教室(アートビレッジ文化館)	幼児（幼稚園年中・年長児）を対象とした絵画教室。マーブリング等の幼児でもできる技法を使って、絵を描くことに興味を持ってもらうことを目的に開催予定。	R03.05.未～ R04.02.未 (回数未定)	―	アートビレッジ事業
教育関係合同表彰式(カルチャーセンター)	芸術文化表彰、青少年表彰、市民スポーツ賞表彰、市民体力づくり運動功績者行賞の合同表彰式	R04.02.中	―	

※アートビレッジ事業縮小のため、令和３年度事業からは岩崎淑コンサートと音楽アカデミーは行わない。

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　歴史事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
縄文キッズフェスタ （史跡北黄金貝塚公園）	市内小中学生を対象とした縄文文化の体験学習イベント	未定	120	
だて噴火湾縄文まつり （史跡北黄金貝塚公園）	縄文文化を学び、親しむためにシンポジウムと体験学習イベント	R03.08.28～ R03.08.29	1,000	
動物考古学セミナー （伊達市噴火湾文化研究所）	動物標本や貝塚から出土した魚や動物の骨を用いた講座・ワークショップ	R04.02.未	50	
緑丘高校総合的探究の時間 （緑丘高・史跡北黄金貝塚公園）	史跡北黄金貝塚のガイドになるための講義や演習を実施（３回程度）	R03.04.27～ R03.08.29	160	
文化財防火デー （善光寺・三戸部家住宅）	重要文化財を火災から守るための消防訓練	R03.11.未	20	
アイヌ文様刺繍講座 （有珠生活館）	アイヌ民族の伝統文化を学ぶための講座（２日開催） 講師：菊田秀子氏、千石則子氏	R03.06.26～ R03.06.27	20	
伊達の歴史めぐり市民見学会 （史跡北黄金貝塚公園・だて歴史文化ミュージアム）	伊達市内の歴史文化をめぐるガイドツアー（１回完結：３回開催）	09/16、09/18 09/23	60	20人×３回

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　ミュージアム事業　】　　担当課・係　だて歴史文化ミュージアム

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
旅人がみた有珠 （本館２階特別展示場）	江戸～明治時代を訪れた旅人の記録から有珠のアイヌ民族の様子を探る企画展 【緊急事態宣言により期間短縮】	R03.04.17～ ~~R03.05.30~~ R03.05.16	611	（要） 観覧料 （終了）
有珠モシリ遺跡 （本館２階特別展示場）	数十年ぶりに発掘調査が行われたモシリ遺跡。モシリ遺跡の概要と重文出土品を紹介する企画展	R03.06.19～ R03.08.22	2,000	（要） 観覧料
武家の装い （本館２階特別展示場）	当館が所蔵する江戸時代の服飾資料を中心に紹介する企画展	R03.09.11～ R03.11.30	2,000	（要） 観覧料
亘理伊達家のお雛様 （本館２階特別展示場）	ひな祭りに合わせて、亘理伊達家由来のお雛様などを展示する企画展	R04.03.01～ R04.03.27	1,000	（要） 観覧料
北海道・北東北の縄文遺跡群パネル展 （本館１階ラーニング・スタジオ）	市内における世界遺産登録の機運を高めるべく、北海道・北東北の縄文遺跡群をパネル形式で展示。 【緊急事態宣言により5/17中断】	R03.04.17～ R03.08.22	見込　2,500 (5/16までの来館 1,090)	無料
「木工 飛世」2021だて展示会 （本館１階ラーニング・スタジオ）	市内在住の若手木工作家：飛世将利氏による作品展示及びワークショップの開催	R03.09.11～ R03.09.26	500	無料
フランク・シャーマン展 （本館１階ラーニング・スタジオ）	フランク・シャーマン没後30年を機に、彼の事績やコレクションの紹介を行う展示	R03.10.09～ R03.11.30	1,000	（要） 観覧料
江戸時代の室内遊び （本館１階ラーニング・スタジオ）	江戸時代に遊ばれていた室内遊びをパネル形式で紹介する。	R04.03.01～ R04.03.27	1,000	無料
歴史講演会 （本館１階ラーニング・スタジオ）	「有珠モシリ遺跡」展示における市民向けの歴史講演会	R03.08.07	80	無料
歴史講演会 （本館１階ラーニング・スタジオ）	「武家の装い」展示における市民向けの歴史講演会	R03.09.未	80	無料
迎賓館　ＧＷイベント （迎賓館）	市有形文化財の迎賓館を活用したＧＷイベント	R03.05.01～ R03.05.05	1,500	無料
迎賓館　七夕まつり （迎賓館）	市有形文化財の迎賓館を活用した七夕まつり	R03.08.09	100	無料
ミュージアムで自由研究を完成させちゃおう！！ （本館１階ラーニング・スタジオ）	市内小学生向けの自由研究サポート企画	夏休み 期間中	50	無料

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　青少年事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
第１回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	「お茶」と「お話」を楽しもう 〔協力者・協力団体〕 武者　ますみ　氏 サークル「お話の森」 つどいサークル「ドロップ」 【緊急事態宣言により中止】	R03.05.23		【中止】
第２回だてっ子遊び・学びの教室（だて歴史の杜公園等）	「自然観察会」 〔協力者・協力団体〕 講師調整中 つどいサークル「ドロップ」 【緊急事態宣言により７月に延期】	~~R03.06.26~~ R03.07.未	65	【延期】
第３回だてっ子遊び・学びの教室（ミュージアム）	「渡辺元佳さんワークショップ」 〔協力者・協力団体〕 渡辺　元佳　氏 つどいサークル「ドロップ」 ※午前・午後の２回に分けて開催	R03.09.04	40	20人×２回
第４回だてっ子遊び・学びの教室（未定）	「考古学教室」 〔協力者・協力団体〕 永谷 幸人 氏(文化財係：学芸員) つどいサークル「ドロップ」	R03.10.02	30	
第５回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	「クリスマスカードづくり」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」	R03.12.04	30	
第６回だてっ子遊び・学びの教室（カルチャーセンター）	「心ときめく小さな音楽会」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」他	R04.02.26	30	
フロンティアリーダー養成アカデミー（ネイパル森） 【単年度事業】	道教委主催の高校生を対象とした宿泊リーダー研修会で、伊達市からは１名の高校生（緑丘高校）を派遣予定。 ※例年開催している道南ジュニアリーダーコースは、本事業開催のため、今年度は開催しない。	R03.07.28～ R03.08.01 （４泊５日）	1	
姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会（伊達市）	姉妹・歴史友好都市である、宮城県亘理町、山元町、柴田町、福島県新地町、伊達市の中高生シニアリーダーが一堂に会し研修・交流する。 ※２年おきに伊達市で開催。次回の伊達市開催は２０２４年 〔協力団体〕 伊達シニアクラブスポーツ少年団	R03.08.02～ R03.08.04 （２泊３日）	30名程度 うち伊達市からの参加者　６名	
令和３年成人式（カルチャーセンター）	市民憲章朗読、成人の誓い、ビデオレター等。（縮小開催） 〔協力団体〕 伊達favorite CLUB	R03.08.14	300	R03.01.10延期分

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　青少年事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
防災親子キャンプ （だて歴史の杜公園）	防災教育を主とした親子キャンプ 晴天時～公園内 荒天時～カルチャーセンター	R03.08.28～ R03.08.29 （１泊２日）	20組 （テント20張）	危機管理室所管
親子体験教室 （未定）	小中学生とその保護者を対象とした親子参加型の体験事業 （親子クッキングまたは、クリスマスリースづくり）	R03.11.13	20人(10組)	
令和４年成人式 (カルチャーセンター)	市民憲章朗読、成人の誓い、ビデオレター、バンドコンサート等。 〔協力団体〕 伊達favorite CLUB 伊達市長生大学	R04.01.09	300	
あそびましておめでとう （みらい館）	小学生を対象とした事業。事業内容については、昔遊び、ニュースポーツ、お雑煮昼食を予定。 〔協力団体〕 伊達シニアクラブスポーツ少年団つどいサークル「ドロップ」 伊達市長生大学	R04.01.22	30	
大滝区の子どもたちとの交流事業【国鉄胆振線代替バス利用促進事業】（倶知安町予定）	沿線（倶知安～喜茂別など）の児童生徒の交流を図る。	未定	未定	企画調整係所管

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　スポーツ事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年・スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
春一番伊達ハーフマラソン（メイン会場：だて歴史の杜公園）	ハーフ、１０㎞、５㎞、３㎞、車いす、小学団体戦	R03.04.18		【中止】
おおたき国際ノルディックウォーキング（大滝総合運動公園）	１２㎞、６㎞、３㎞	R03.07.04		【中止】
おおたき国際スキーマラソン（大滝総合運動公園）	１５㎞、７㎞、５㎞、３㎞	R04.02.13	500	

令和３年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　図書館事業　　】　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
春の読書週間（図書館）	子ども読書週間に合わせて、小学生子ども一日司書体験、子ども向けの本の展示等を実施。 また、２日間限定で２階に「本の森」を設置し、会場内で読み聞かせや大型絵本の展示など楽しみながら本に触れ合ってもらう。	R03.04.23～ R03.05.02	期間計 1,300	
堀内文庫・伊東文庫巡回事業（市内全小学校等）	堀内氏、伊東氏からの寄贈児童書を各校(９校)に３週間程度巡回	R03.05.25～ R04.03.11	―	
みんなのおススメ本ＰＯＰコンテスト（図書館）	市内小中学生等と市内高校生を対象に、おススメ本のＰＯＰコンテストを行う。 図書に対する興味を誘い、読書への意欲の継続・向上を目的として実施。 受賞者は、秋の読書週間に図書館本館で図書を借りた方による投票で決定。	◎作品募集 R03.06.15～ R03.09.19 ◎投票審査 R03.10.29～ R03.11.07 ◎表彰式 R03.12月	応募　500 表彰　15	
七夕飾りづくり（図書館）	長さ４ｍの笹を設置し、子ども達が期間中書いた短冊を飾る。	R03.07.03～ R03.08.08	期間計 180	
秋の読書週間（図書館）	秋の読書週間に合わせて、小学生のためのお話し会、読書クイズ、おすすめ本展示、「本の森」、人形劇等を実施する。	R03.10.29～ R03.11.07	期間計 1,300	
おはなし会（図書館）	幼児から小学生向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施する。	毎月 第１土曜日	延べ 100	保護者含
絵本の読み聞かせ会（図書館）	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施する。	毎月 第２・４水曜日	延べ 360	保護者含
子ども映画会（図書館）	子ども向け映画会の上映を行う。	毎月 第３土曜日	延べ 120	保護者含
地域文庫配本（各地域文庫４箇所）	図書館遠隔地にその地域と協働で地域文庫を設置。半年に一度２５０冊の図書を寄託・巡回し、地域住民への読書サービスの向上に努める。（４地域に開設）	各文庫 年２回入替	―	
ブックスタート（保健センター）	読書啓発と子育て支援のため、乳幼児健康栄養相談（１歳児対象）の際に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	隔月１回	延べ 153	
ブックスタート・ステップ（図書館）	読書啓発と子育て支援のため、２歳児を対象に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	５日間１クールを年３回実施（7、11、3月）	延べ 176	
研修生受入事業（図書館）	図書館業務を体験することで図書館への理解を深めてもらうとともに、研修生の勤労観、職業観の育成等に資する。対象は中学生以上の生徒・学生。	随時	―	